

## 国際社会の法 II

Date \_ \_ \_ \_ \_

### 第1回 プロローグ

#### 1 講師

Name: 新垣修 (Arakaki, Osamu)

E-mail: [osamu.arakaki.76@hosei.ac.jp](mailto:osamu.arakaki.76@hosei.ac.jp)

#### 2 概要と目的

国際人権法に関する基本的な概念や枠組み、思想を学びます。さらに、国際社会における国際人権法の機能について理解を深めます。

#### 3 言語

日本語

#### 4 到達目標

国際人権法の基本的概念を理解します。また、国際社会における人権の価値や意義について考えます。

## 5 内容

- 第1回 プロローグ
- 第2回 国際社会と法、人権
- 第3回 世界人権宣言（1）
- 第4回 世界人権宣言（2）
- 第5回 国際人権規約を中心に
- 第6回 小テスト
- 第7回 ジェンダー
- 第8回 子ども
- 第9回 人身取引
- 第10回 人種差別
- 第11回 障がい者
- 第12回 LGBT
- 第13回 難民
- 第14回 エピローグ

## 6 成績評価基準

授業内試験（筆記試験）	50%
授業内クイズ	30%
小テスト	20%

## 7 参考文献

阿部浩己・他『国際人権法』（第3版）日本評論社  
その他、講義中に紹介します。

## 8 授業の進め方

(1) 講義形式ですが、ディスカッションを含むインターアクティブな授業を行います。したがって、授業（特にディスカッション）への積極的な参加が求められます。

(2) このアウトライン集に示された計画にしたがい、講師の説明とパワーポイントの資料を用いて授業を進めます。

(3) 授業で適宜、クイズへの回答の提出があります。

(4) 成績評価基準の詳細については、第1回の授業（プロローグ）で説明します。

20 年 月 日

## 第 2 回 国際社会と法、人権

- 1 はじめに
- 2 人権とは何か？
- 3 国際法の法源
- 4 条約
- 5 慣習国際法
- 6 法の一般原則
- 7 国際機構の決議
- 8 強行規範（ユース・コーゲンス：*jus cogens*）
- 8 まとめ

芹田健太郎『国際人権法 I』信山社（2011 年）第 2 章

20 年 月 日

第3回～4回 世界人権宣言（1）&（2）

1 はじめに

2 国際人権法の萌芽

3 国際人権法の誕生と展開

（1）国際連盟と人権：労働と少数者保護

（2）国際連合と人権：平和と人権の連結

3 世界人権宣言

（1）起草過程

（2）思想

（3）内容

4 世界人権宣言の法的性質

5 まとめ

参考文献：

齊藤恵彦『世界人権宣言と現代』有信堂（1984年）

田畑茂二郎『国際化時代の人権問題』岩波書店（2002年）第1章～第3章

20 年 月 日

## 第5回 国際人権規約を中心に

- 1 はじめに
- 2 市民的及び政治的権利に関する国際規約
  - (1) 内容
  - (2) 性質
  - (3) 実施制度
- 3 経済的、社会的及び文化的権利に関する国際規約
  - (1) 内容
  - (2) 性質
  - (3) 実施制度
- 4 その後の展開
- 5 まとめ

### 参考文献

宮崎繁樹（編著）『解説国際人権規約』日本評論社（1996年）

20 年 月 日

## 第7回 ジェンダー

### 1 はじめに

### 2 国際社会における女性

(1) 国連憲章

(2) 世界女性会議：Mankind から Humankind へ

### 3 女性差別撤廃条約（女性に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約：1979年）

(1) 権利の内容

(2) 条約の特徴

① 保護の制限

② 差別的慣行の廃止

(3) 条約の実施措置

① 女性差別撤廃委員会

② 選択議定書

### 4 貧困の中の女性

まとめ

参考文献：

山下泰子『女性差別撤廃条約の展開』勁草書房（2006年）

## 第8回 子ども

### 1 はじめに

### 2 子どもの権利の歴史

- (1) 第一次世界大戦後：ジュネーブ宣言（1924年）
- (2) 第二次世界大戦後：子どもの権利宣言（1959年）
- (3) 子どもの権利条約（Convention on the Rights of the Child: 1989年国連総会で採択、1990年発効）

### 3 子どもの権利条約：性質と内容

- (1) 「親によって保護される対象」から「権利の主体」へ
  - ① 保護思想と解放思想の対立
  - ② 生きる権利、意見表明権、表現・情報の自由、良心、宗教の自由、結社・集会の自由、プライバシー・通信・名誉の保護、参加する権利
- (2) 「発達するもの」としての子ども
  - ① 家庭環境の重視、差別禁止、親に養育される権利
  - ② 親と国家の責任
- (3) 子どもの最善の利益

### 4 子どもの権利条約：実施措置

### 5 子ども兵

- (1) 子ども兵（少年兵・少女兵：child soldier）とは？
- (2) 子ども兵の実態
- (3) 子ども兵と国際法

おわりに



参考文献：

アマドゥ・クルマ『アラーの神にもいわれはない：ある西アフリカ少年兵の物語』人文書院（2003年）

鬼丸昌也（他著）『ぼくは 13 歳 職業、兵士。：あなたが戦争のある村で生まれたら』合同出版（2005年）

イシメール・ベア『戦場から生きのびて：ぼくは少年兵士だった』河出書房新社（2008年）

本田和子『子ども 100 年のエポック』フレーベル館（2004）

## 第9回 人身取引

- 1 はじめに
- 2 人身取引とは？
- 3 国際社会における人身取引市場
- 4 日本と人身取引
- 4 国際条約：人身取引禁止議定書
- 5 日本の対応：人身取引対策行動計画
- 6 まとめ

### 参考文献

ヒューマン・ライツ・ウォッチ&アジア・ウォッチ女性の権利プロジェクト編『現代の奴隷制：タイの売春宿へ人身売買されるビルマの女性たち』明石書店（2007）  
長谷川まり子『少女売買：インドに売られたネパールの少女たち』光文社（2007）  
京都 YWCA・APT 編『人身売買と受入大国ニッポン：その実態と法的課題』明石書店（2001）

20 年 月 日

## 第10回 人種差別

- 1 はじめに
- 2 人種差別撤廃条約
  - (1) 背景
  - (2) 国連と条約締結
  - (3) 実施制度
- 3 人種差別撤廃委員会
- 4 「人種化」する沖縄人
  - (1) 再生産可能な「人種」概念
  - (2) アイデンティティの安全保障とレイシズム
- 5 沖縄の基地と差別効果
  - (1) 間接差別としての基地被害
  - (2) 「アパルトヘイト」と沖縄基地問題
- 5 プラグマティズムとしてのレイシズム禁止規範
- 6 おわりに

### 参考文献

坂本義和『相対化の時代』岩波書店（1997年）  
ミシェル・ヴィヴィオルカ（訳：森千香子）『レイシズムの変貌：グローバル化

がまねいた社会の人種化、文化の断片化』明石書店（2007年）  
宮里政玄、新崎盛暉、我部政明（編著）『沖縄「自立」への道を求めて：基地・  
経済・自治の視点から』  
村上正直『人種差別撤廃条約と日本』日本評論社（2005年）  
Sydney Tarrow *New Transnational Activism* (CUP, 2006)  
United Nations Treaty Collection (United Nations)  
<[http://treaties.un.org/Pages/ViewDetails.aspx?src=TREATY&mtdsg\\_no=IV-  
2&chapter=4&lang=en](http://treaties.un.org/Pages/ViewDetails.aspx?src=TREATY&mtdsg_no=IV-2&chapter=4&lang=en)>  
Andrew Yeo *Activists, Alliances, and Anti-U.S. Base Protests* (CUP, 2011)

20 年 月 日

## 第 11 回 障がい者

- 1 はじめに
- 2 国連憲章から国際人権規約まで
- 3 障がい者の権利への国際的関心
- 4 条約化への動き
- 5 障がい者の権利に関する条約
  - (1) 目的
  - (2) 一般原則
  - (3) 内容
  - (4) 特色
- 6 まとめ

### 参考資料

児玉勇二・池田直樹(編著)『障害のある人の人権状況と権利擁護』明石書店(2003年)

長瀬修・川島聡(編著)『障害者の権利条約—国連作業部会草案—』明石書店(2004年)

日本弁護士連合会人権擁護委員会(編)『障害のある人の人権と差別禁止法』明石書店(2002年)

第12回 LGBT

1 はじめに

2 国際社会、LGBT、そして人権

- (1) 欧州
- (2) 国際連合と国際条約
- (3) その後

3 難民条約と LGBT の保護

- (1) 事実かどうか？- 判断の難しさ
- (2) 迫害の危険は十分か？
- (3) 同性愛者・性的マイノリティに対する迫害

4 LGBT：難民としての保護の実践

- (1) 米国
- (2) カナダ
- (3) ニュージーランド

5 まとめ

参考文献

新垣修「Hernandez-Montiel v. INS, 225 F3d 1084 (9<sup>th</sup> Cir. 2000)」『アメリカ法』(2003-1号) pp.172-178

サンダース『カナダのセクシュアル・マイノリティたち：人権を求めつづけて』  
教育史料出版会 (2005)

伊藤悟『同性愛がわかる本』明石書店 (2000)

20 年 月 日

## 第13回 難民

- 1 はじめに
- 2 難民の歴史
- 3 難民レジーム
- 4 難民条約と難民保護の実践
- 5 国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR)
- 6 まとめ